

2006年(平成18年)9月26日(火曜日)

異文化と心通わせ

つくば通信

(11) 村田 佳子



「転校生」を経験したことがあります。子供のころ、新学期になると担任の先生がよく新しいクラスメートを紹介してくれたものです。たまたまなのかな、それとも私が好奇心旺盛なことを先生が知っていたのか、転校生はよく隣に着席しまし

特に県内からだと内陸地方からのクラスメートの話の方は私は珍しくは新鮮でした。子供のころ、水泳を習い始めたのですが小学校3年生のとき、山形市で開かれた県大会に初めて出たところです。

水泳は試合の前に召集所

「ホーム」と「アウエー」

「本」にさやかに会話を
する選手たちを見ては、氣後れ
していました。
そしてそういう選手たち
は自信がありそうに見え
たものです。本当に強い
選手はそんなことは気に
ならないのでしょうか、
私は召集所で何か聞かれ
ても訛っているのが恥ず
ら進めていく授業です

します。昔、私が標準語をしゃべる人の中にいて、氣後れしたときのような「アウェー」な気持ちは、味わっているかも知れない、と思うと、あつくり聞いてあがいたくなるます。もちろんどこに行つても、自信をもつてはつきり主張できればいいのですが、大勢いるとそんな人ばかりではありません。ゆつくり耳を傾けてみると、問のほうが、より巧妙なこともあるのです。

自信なさげな人が放つ質問のほうですが、より巧妙なことあるのです。

岡市出身、JICA筑波国際センター・クリニツク

各国の研修生が集まって
行うワークショップの風
景。課題を話し合しながら
進めいく授業です

くり耳を傾けてみると、自信なさげな人が放つ質問のほうが、より巧妙なこともありますのです。

します。昔、私が標準語にて接するひとを庄内でしゃべる人の中にいて「アウェー」な気持ちはあります。私の周囲が後れしたときのよくなきたと思います。私の周囲で庄内に行ったことのある人は、日本人も外国人も味わっているかもしだれないと聞いてあがいたくなります。い、そう思うとゆづくりもちろんどこに行つても人も口をそろえて親切に話します。孤独感を味わうことをよく滞在できたの張できればいいのですが、でしよう。そのたびに私は大勢いるとそんな人ばかりは自分が裏められたよう

「ム」と「アウェー」

という所に集まり、応呼されてからレースに向かいます。そこに集まつて来る内陸地方の選手たちや競技員の大人が當時、自分とは違つてクセントや語尾で話しているのを聞いて子供心にも驚き、家に帰つてからまねをしてみせたのを見えていました。

全国各地で行われた試合では東京や関西などの人たちは大勢で参加し、召集所でも仲間同士

や競技員の大人が當時、私は今、英語を使う環境にいますが、ここでは英語が公用語として使われている国々の方は独特のアクセントや発音をしていても積極的に話します。そうかと思うと英語は苦手、あるいは昔習つたけれど何十年ぶりに使うなどという方は集団の中においても遠慮がちで、質問は会が終わってからそばに来てそっと

発揮できるタフさが求められるでしょう。ただし、コミュニケーションではせつかく会えたのに、その場の雰囲気に圧倒され、気後れしている人や英語という道具がまだ十分でないなどの理由でモジモジしている人の話を聞けないのはもったいないです。

訂正 21日付掲載の
つづきは通信は10回目で
した。

1

スポーツでは「アウェー